

第24回 富山景気定点観測アンケート 調査結果

2021年12月

富山経済同友会
企業経営委員会

第24回 富山景気定点観測アンケート調査結果

調査期間：2021年12月1日～15日

(※本調査は年2回（7月、12月）実施)

調査対象：富山経済同友会会員企業 404社

回答数：158社（回答率39.1%）（製造業51社、非製造業107社）

【調査結果の概要】**I 経済情勢****1 富山県の景気の現状について** (☞ P1)

「緩やかに拡大している」が上昇（33%→42%）し、「緩やかに後退している」が低下（14%→10%）した。（*前回調査は2021年7月。以下同じ）

2 今後の見通しについて (☞ P1)

「緩やかに拡大する」がやや上昇（58%→61%）した。
その判断根拠は、「個人消費の増加」（33%→44%）、「政府支出の増加」（11%→21%）など。

II 企業業績、設備投資等**1 売上高、経常利益** (☞ P2)

- ・売上高：10-12月期見込み、1-3月期予想ともに「横ばい」（それぞれ47%、52%）が最も多い。
- ・経常利益：10-12月期見込み、1-3月期予想ともに「横ばい」（それぞれ40%、41%）が最も多い。

2 設備投資（2020年度比） (☞ P3)

「増額」「減額」とともに横ばい（それぞれ32%、24%）となった。

3 雇用の状況 (☞ P3)

「不足している」がやや低下（41%→38%）した。
「技術者・専門技能者」の不足が最も多かった（62%）。

III トピックス**1 脱炭素経営について** (☞ P4～5)

- ・脱炭素経営の必要性について、9割超の企業が「取り組む必要がある」（大いに40%、ある程度54%）と回答し、脱炭素に向けた取り組み意識は非常に高い。
- ・脱炭素に向けた中長期的な計画や目標は、2割の企業が「策定している」と回答（20%）、「策定を予定（検討）している」と回答した企業も4割に上る（42%）。
- ・具体的な取り組みは、「環境負荷の少ない原材料や部品の利用」が半数を占める（50%）。
- ・取り組む際の課題としては、「専門知識やノウハウの不足」（50%）が最多、「資金不足・コスト負担」（36%）、「従業員の理解」（32%）と続く。

2 健康経営について (☞ P6～7)

- ・健康経営には、7割の企業が「既に取り組んでいる」と回答（70%）。約4割の企業が「健康経営優良法人」（21%）や「健康企業宣言」（27%）の顕彰制度の認定を受けている。
- ・実施体制としては、「総務や労務の担当部署が通常業務の中で取り組んでいる」が6割を超える（61%）。
- ・実際の効果・成果は、「従業員の健康意識の高まり」（71%）が最多、次いで「企業価値・イメージの向上」（46%）、「従業員満足度の向上」（32%）が多くなっている。
- ・推進する上での課題として、「従業員の意識向上」（46%）、「効果的な取り組み方法」（43%）、「目標設定・進捗管理」（30%）と感じている企業が多い。

I 経済情勢

1 景気の現状について

現在の富山県の景気動向をどのように判断されますか。

(回答数158社)

調査時点	2020/7	2020/12	2021/7	2021/12
拡大している	0%	0%	1%	0%
緩やかに拡大している	0%	11%	33%	42%
横ばい状態が続いている	16%	38%	51%	45%
緩やかに後退している	30%	36%	14%	10%
後退している	53%	14%	1%	2%
その他	1%	1%	0%	1%

2 2022年前半の景気見通しについて

(1) 富山県の2022年前半（2022年1月～6月）の景気についてどのようにお考えですか。

(回答数158社)

調査時点	2020/7	2020/12	2021/7	2021/12
拡大する	0%	0%	1%	1%
緩やかに拡大する	6%	19%	58%	61%
横ばい状態が続く	24%	46%	32%	28%
緩やかに後退する	27%	22%	8%	8%
後退する	32%	12%	1%	1%
その他	1%	1%	0%	1%

*各調査時点において先行き半年間の景気見通しを回答

(2) そのように判断する根拠をお選びください。(2つまで)

(回答数158社)

調査時点		2020/7	2020/12	2021/7	2021/12
設備投資	増加	2%	7%	27%	25%
	減少	37%	33%	11%	9%
個人消費	増加	8%	8%	33%	44%
	減少	55%	53%	26%	16%
政府支出	増加	9%	18%	11%	21%
	減少	2%	3%	4%	5%
住宅投資	増加	0%	0%	1%	3%
	減少	7%	7%	5%	2%
輸出	増加	1%	3%	6%	1%
	減少	10%	3%	1%	4%
生産・販売	増加	3%	18%	34%	30%
	減少	46%	27%	8%	12%
その他		10%	5%	10%	8%

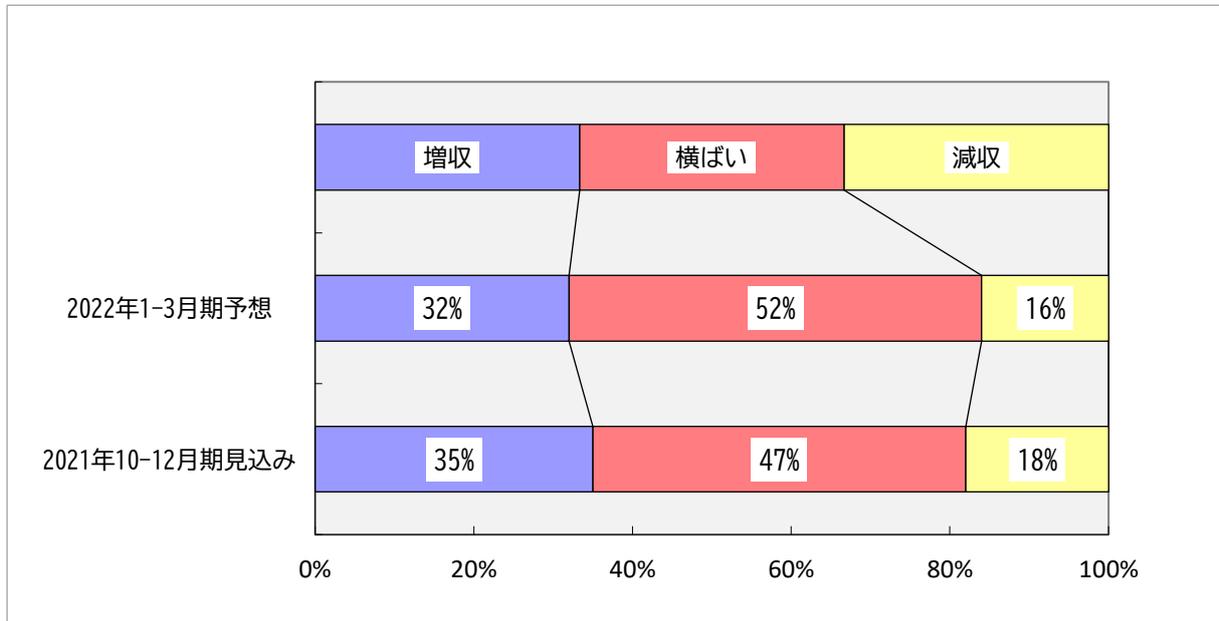
その他回答は「コロナの影響」「人手不足」「原油高」など

Ⅱ 企業業績、設備投資等

1 業績について

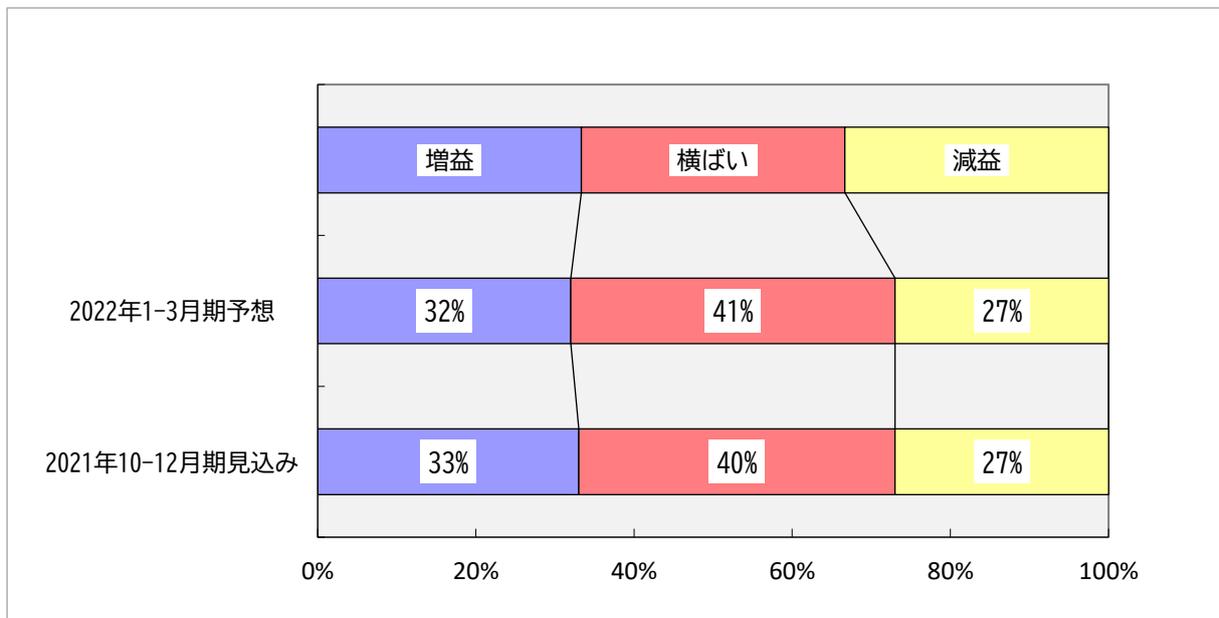
【売上高】（前年同期比）

（回答数155社）



【経常利益】（前年同期比）

（回答数145社）



2 2021年度の設備投資について

(1) 国内の設備投資額は、2020年度比でどのようになる予定でしょうか。

(回答数155社)

調査時点	2020/7	2020/12	2021/7	2021/12
増額	18%	22%	32%	32%
2020年度（前年度）並み*	39%	35%	44%	44%
減額	43%	43%	24%	24%

*注) 2020/7～2020/12調査時は2019年度並み

(2・3) 増額・減額する設備投資の主な内容をお選びください。(複数回答可)

(回答数)		能力 増強投資	新規 事業投資	資 合理化・ 省力化投	環 境対策投資	研 究開発投資	I T・情 報化投資	維 持・補 修・更 新の 投資	そ の 他
増額	(114)	25%	25%	32%	16%	6%	39%	38%	3%
減額	(84)	15%	35%	11%	1%	11%	6%	38%	4%

3 雇用の状況について

(1) 全体として、雇用人員は

(回答数157社)

調査時点	2020/7	2020/12	2021/7	2021/12
過剰である	4%	16%	12%	10%
適正である	45%	48%	47%	52%
不足している	51%	36%	41%	38%

(2・3) 過剰感・不足感のある雇用人員は（2つまで）

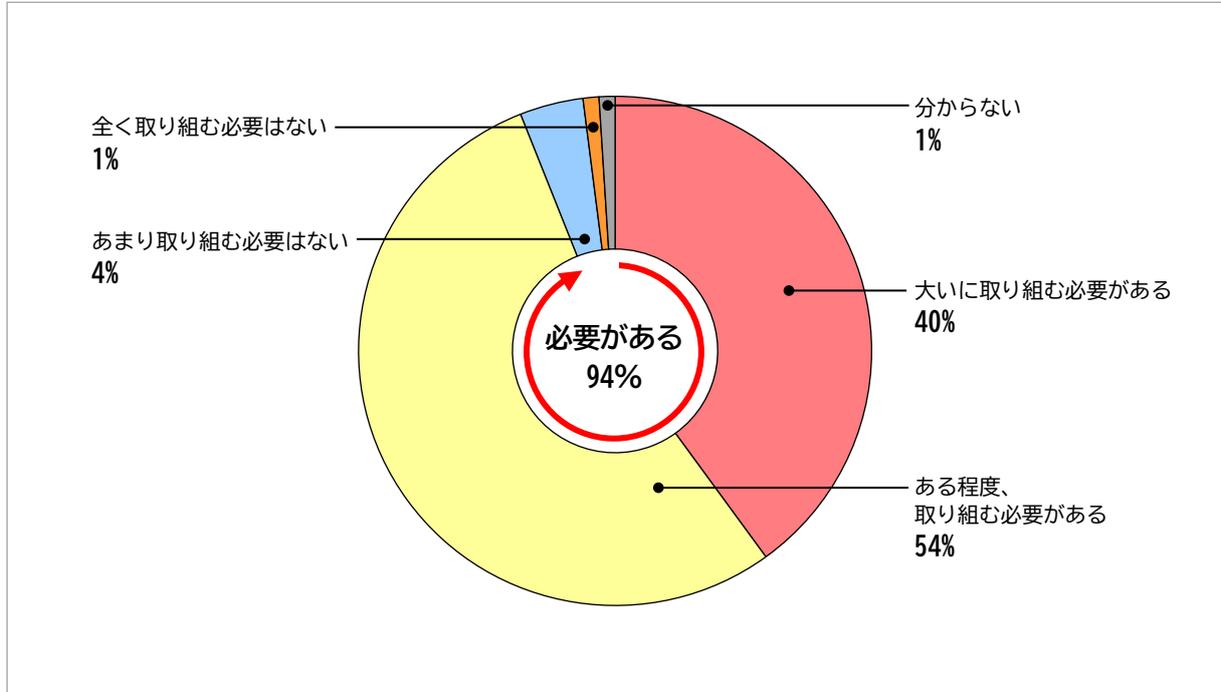
(回答数)		経 営・ 管理 職	一 般社 員、 工員 等	者 技 術者 ・ 専門 技能	営 業専 門職 (歩 合、 請負 等)	ア シス タント (派 遣パ ート、 アル バイト 等)	そ の 他
過剰感	(31)	35%	55%	6%	10%	16%	0%
不足感	(90)	13%	31%	62%	28%	9%	2%

Ⅲ トピックス

1 「脱炭素経営」について

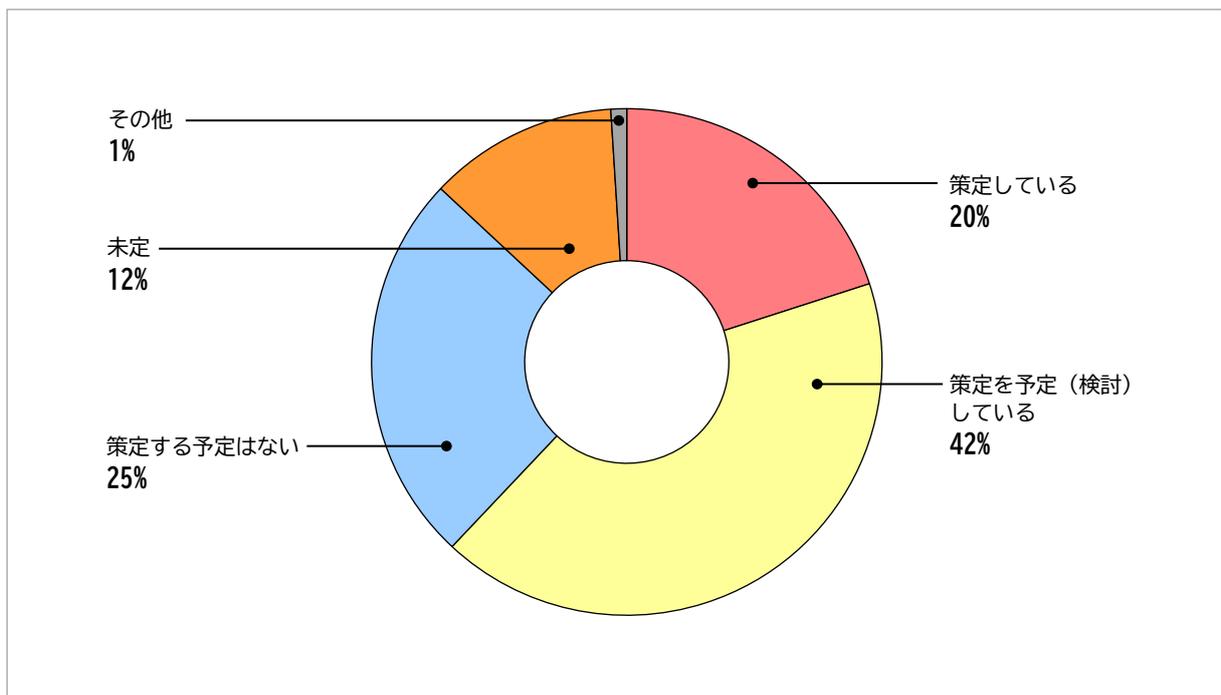
(1) 「脱炭素経営」の必要性についてどのようにお考えですか。

(回答数158社)



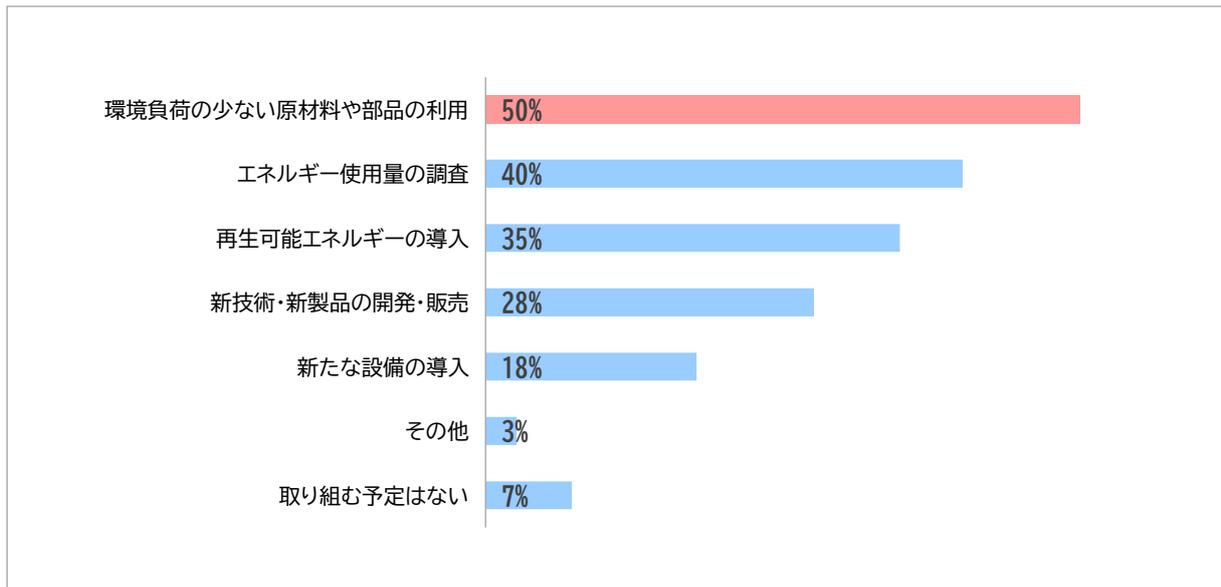
(2) 「脱炭素」に向けた中長期的な計画・目標の策定状況についてお答えください。

(回答数157社)



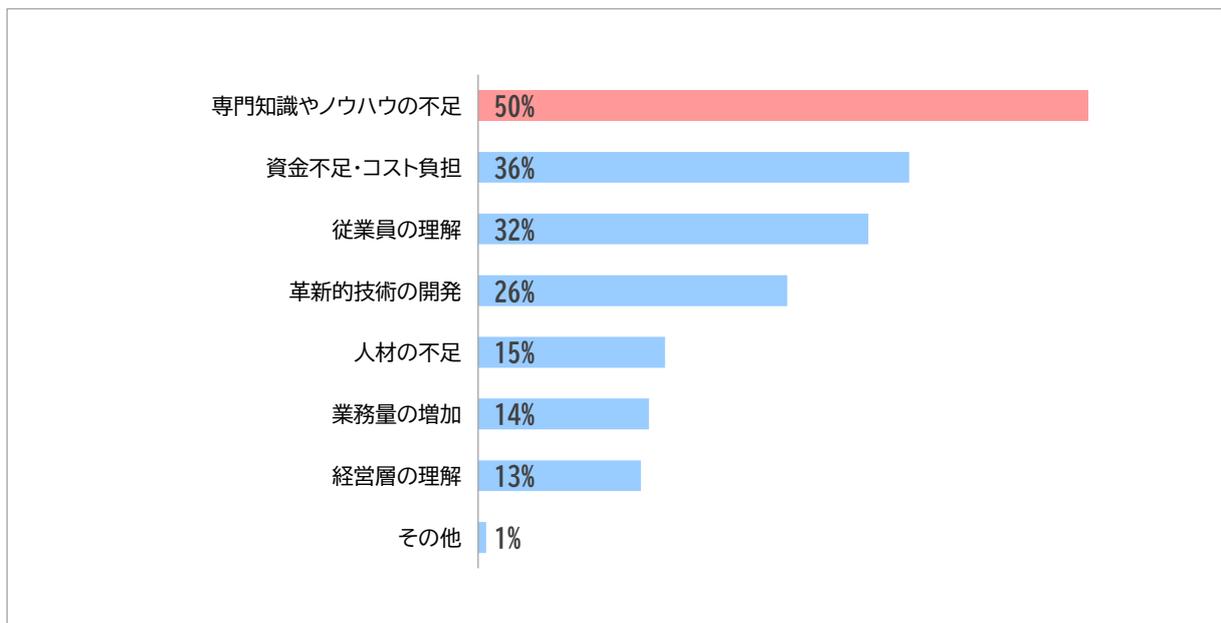
（3）「脱炭素」に向けた具体的な取り組み内容についてお答えください。（複数回答可）

（回答数151社）



（4）「脱炭素経営」に取り組む際の課題についてお答えください。（複数回答可）

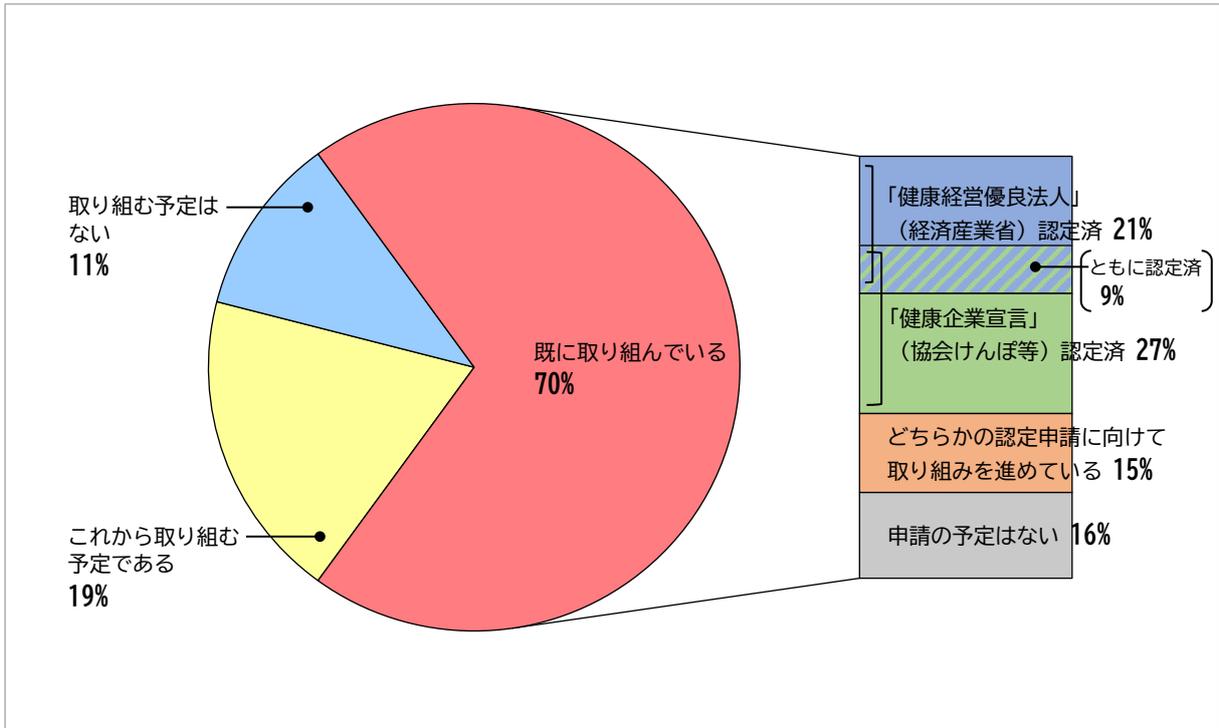
（回答数149社）



2 「健康経営」について

(1) 「健康経営」の取り組み状況について当てはまるものをお答えください。

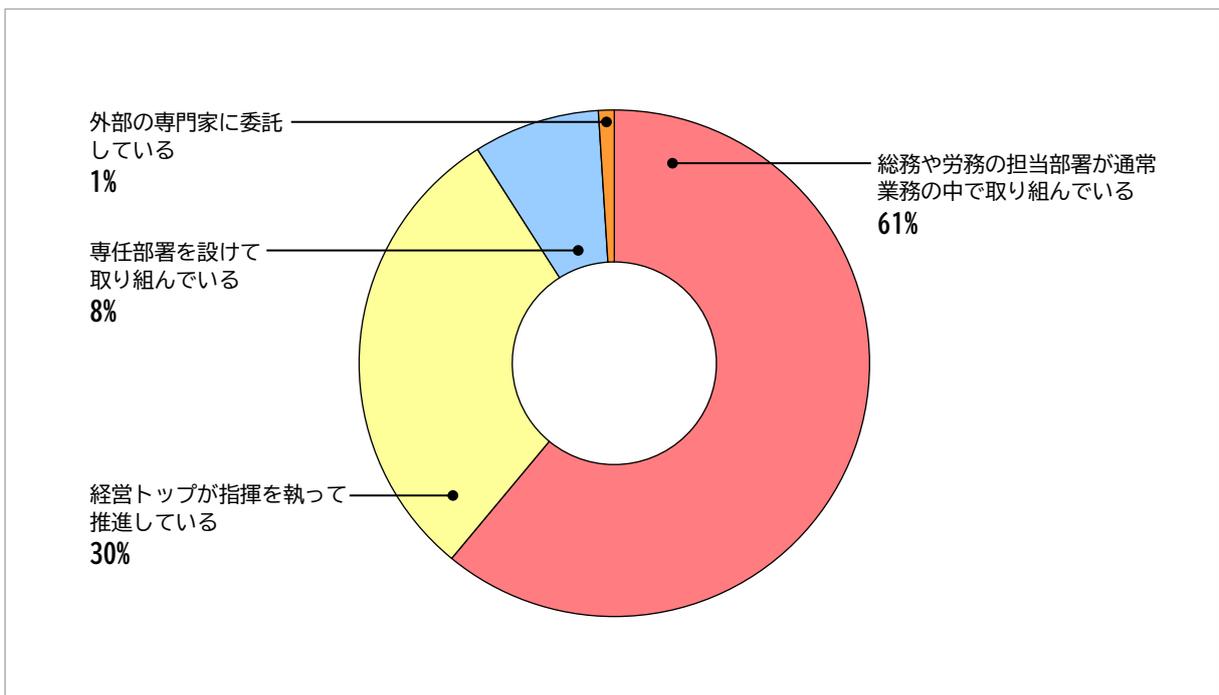
(回答数158社)



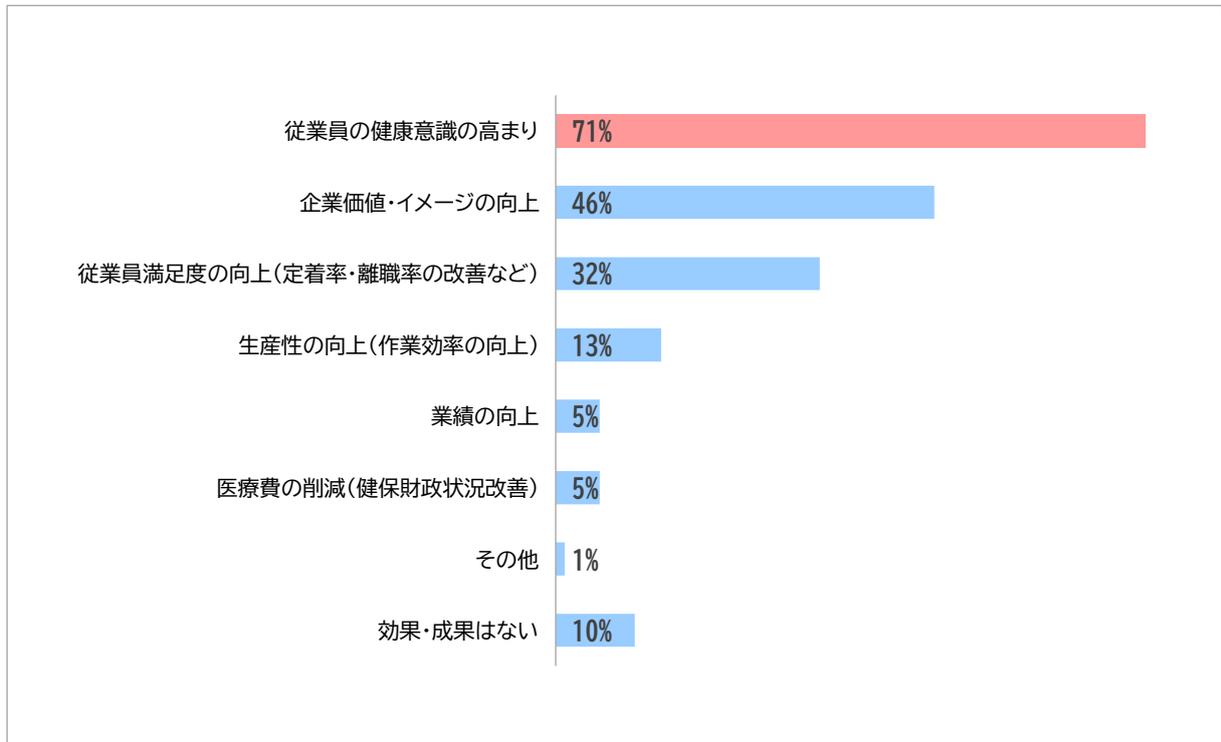
以下、(1)で「既に取り組んでいる」と回答した方にお伺いします。

(2) 「健康経営」の実施体制について当てはまるものをお答えください。

(回答数96社)

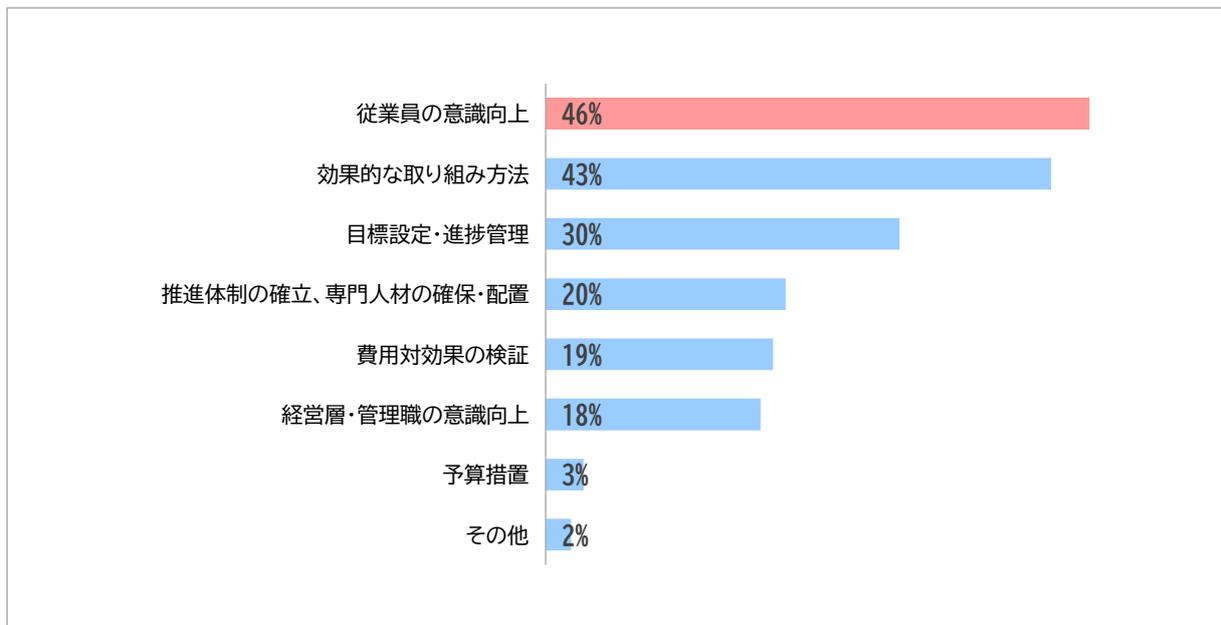


(3) 「健康経営」の取り組みにより、実際にどのような効果・成果がありましたか。(複数回答可)
(回答数94社)



(4) 「健康経営」を推進する上での課題についてお答えください。(複数回答可)

(回答数94社)



—回答者業種分類—

業種	件数	比率
建設業	23	15%
製造業	51	32%
電気・ガス・水道業	3	2%
情報通信業	6	4%
運輸業	4	3%
卸売・小売業	25	16%
金融・保険業	13	8%
不動産業	7	4%
飲食店・宿泊業	3	2%
サービス業	16	10%
その他	7	4%
総数	158	100%

—回答者企業規模（従業員数）—

規模	件数	比率
5人以下	2	1%
6～20人	16	10%
21～50人	30	19%
51～100人	23	15%
101～300人	31	20%
301人以上	56	35%
総数	158	100%

以 上